

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム(6か月訓練 425時間)

※6か月あたり425時間以上(OJT:Off-JT=8:2=340時間:85時間 ~ OJT:Off-JT=2:8=85時間:340時間)

【活用事例1】カリキュラム(6か月訓練 425時間)

※6か月あたり425時間以上(OJT:Off-JT=8:2=340時間:85時間 ~ OJT:Off-JT=2:8=85時間:340時間)

軽金属製品製造業における教育訓練カリキュラム					
平成22年2月作成					
訓練科名(コース名)		軽金属製品製造実践科 (組立・運搬・梱包/品質管理コース)	訓練修了後の関連職種	軽金属製品製造業における組立・運搬・梱包/品質管理の職務	
訓練目標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、軽金属製品製造業の組立・運搬・梱包/品質管理に係る基本的な知識と技能を習得する。			
仕上がり像		軽金属製品製造業における組立・運搬・梱包/品質管理に係る基本的な業務ができる。			
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習 (OJT)	組立作業	部品組立の作業目的、部品組立作業段取り、組立機械・機器の取扱い・点検・整備、外観検査(形状・キズ)	135	自企業で中心となる作業毎に教科及び内容を 選択・削除(カスタマイズ)、 時間を変更し、設定する。	
	運搬・梱包作業	運搬・保管・梱包・包装作業段取り、アルミニウム材・製品の取扱い、運搬・保管・梱包作業機械・機器・用具・車両の取扱い・点検・整備、梱包・包装材料、外観検査(種類・形状・数量・キズ)	135		
	品質管理(受入検査作業)	受入検査の作業目的、受入検査の段取り、外観検査(キズ・打痕・寸法・変形)、測定技法	70		
	安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、QC活動、労働安全衛生法、環境対策、廃棄物処理	他の実習に包含		
OJT計 340.0時間					
有期実習型訓練の内容 学科	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、コミュニケーション、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、職業倫理とコンプライアンス、電話対応、接遇(身だしなみ、態度、CS(顧客満足))、ホスピタリティ	3		新規採用時研修同等
	安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、執)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検、KY)、労働災害の防止、健康確保、リスクアセスメント、環境問題、製作者責任(PL)	3		
	組立・運搬・梱包/品質管理の基本知識	組立工程に関する知識、機械に関する知識(種類・形状・用途)、組立機の使用仕方、機能・構造、組立器具の種類・形状・用途、包装の分類・用語、機械・器具・包装方法、品質管理、包装の材料及び容器、製図・梱包作業方法、品質管理に関する知識(考え方、進め方、規格に関する知識)、受入検査の検査項目と合格判定基準、受入検査の検査票の様式と記録方法、測定機器に関する知識	6		OJT前の基本知識の付与
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)	10		
	学科計 22.0時間				
座学等 (Off-JT)	安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、衛生管理実務、救急法(心肺蘇生、AED操作方法)	4		
	組立基本実技	部品組立の作業目的、部品組立作業段取り、組立機械・機器の取扱い・点検・整備、外観検査(形状・キズ)			OJT前の基本知識の付与
	運搬・梱包基本実技	運搬・保管・梱包・包装作業段取り、アルミニウム材・製品の取扱い、運搬・保管・梱包作業機械・機器・用具・車両の取扱い・点検・整備、梱包・包装材料、外観検査(種類・形状・数量・キズ)	6		自企業で中心となる作業毎に教科及び内容を 選択・削除(カスタマイズ)、 時間を変更し、設定する。
	品質管理(受入検査作業)基本実技	受入検査の作業目的、受入検査の段取り、外観検査(キズ・打痕・寸法・変形)、測定技法			
	必須実技 (特別教育、技能講習)	フォークリフト運転技能講習、玉掛け技能講習など	53	指定講習機関	各種資格・免許から作業に必要な優先度により選択
実技計 63.0時間					
座学等(Off-JT)計 85.0時間					
有期実習型訓練合計 425.0時間					
主要な設備・教材		移動式クレーン、フォークリフト、荷役用具類、パレット、組立機械、組立器具、梱包・包装材料			

軽金属製品製造業における教育訓練カリキュラム					平成22年2月作成	
訓練科名(コース名)		軽金属製品製造実践科 (組立/運搬・梱包/品質管理コース)	訓練修了後の 関連職種	軽金属製品製造業における組立/運搬・梱包/品質管理の職務		
訓練目標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、軽金属製品製造業の組立/運搬・梱包/品質管理に係る基本的な知識と技能を習得する。				
仕上がり像		軽金属製品製造業における組立/運搬・梱包/品質管理に係る基本的な業務ができる。				
		職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習 (OJT)	実習 (OJT)	組立作業	部品組立の作業目的、部品組立作業段取り、組立機械・機器の取扱い・点検・整備、外観検査(形状・キズ)	340		
		運搬・梱包作業	運搬・保管・梱包・包装作業段取り、アルミニウム材・製品の取扱い、運搬・保管・梱包作業機械・機器・用具・車両の取扱い・点検・整備、梱包・包装材料、外観検査(種類・形状・数量・キズ)			
		安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、QC活動、労働安全衛生法、環境対策、廃棄物処理		他の実習に包含	
OJT計 340.0時間						
学科	学科	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、コミュニケーション、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、職業倫理とコンプライアンス、電話対応、接遇(身だしなみ、態度、CS(顧客満足))、ホスピタリティ	3		新規採用時研修同等
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、親和)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検、KY)、労働災害の防止、健康管理、リスクアセスメント、環境問題、製造物責任(PL)	3		
		組立/運搬・梱包/品質管理の基本知識	組立工程に関する知識、機械に関する知識(種類・形状・用途)、組立機の使用仕方、機能・構造、組立治具の種類・形状・用途、包装の分類・用部、機械・器具・包装方法・品質管理、包装の材料及び容器、製図・梱包作業方法、品質管理に関する知識(考え方や進め方、規格に関する知識)、受入検査の検査項目と合格判定基準、受入検査の検査部の様式と記録方法、測定器具に関する知識	3		OJT前の基本知識の付与
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)	10		
学科計 19.0時間						
実技	実技	安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、衛生管理実務、救急法(心肺蘇生、AED操作方法)	4		
		組立基本実技	部品組立の作業目的、部品組立作業段取り、組立機械・機器の取扱い・点検・整備、外観検査(形状・キズ)	12		
		運搬・梱包基本実技	運搬・保管・梱包・包装作業段取り、アルミニウム材・製品の取扱い、運搬・保管・梱包作業機械・機器・用具・車両の取扱い・点検・整備、梱包・包装材料、外観検査(種類・形状・数量・キズ)	12		
		必須実技 (特別教育、技能講習)	フォークリフト運転技能講習/玉掛け技能講習など	38	指定講習機関	各種資格・免許から作業に必要な優先度により選択
実技計 66.0時間						
座学等(Off-JT)計 85.0時間						
有期実習型訓練合計 425.0時間						
主要な設備・教材		移動式クレーン、フォークリフト、荷役用具類、パレット、組立機械、組立器具、梱包・包装材料				

経験者(パート・アルバイト)の方を対象に計画した場合

6か月間の訓練期間で就業時間数の全てを訓練時間として計画した場合

【活用事例2】カリキュラム(3か月訓練 215時間)

軽金属製品製造業における教育訓練カリキュラム							
平成22年2月作成							
訓練科名(コース名)		軽金属製品製造実践科 (組立/運搬・梱包・品質管理コース)	訓練修了後の 関連職種	軽金属製品製造業における組立/運搬・梱包・品質管理の職務			
訓練目標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、軽金属製品製造業の組立/運搬・梱包・品質管理に係る基本的な知識と技能を習得する。					
仕上がり像		軽金属製品製造業における組立/運搬・梱包・品質管理に係る基本的な業務ができる。					
実習 (OJT)	職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考	
	組立作業	運搬・梱包作業	部品組立の作業目的、部品組立作業段取り、組立機械・機器の取扱い、点検・整備、外観検査(形状・キズ)	157		自企業で中心となる作業毎に教科及び内容を 選択・削除(カスタマイズ)、 時間を変更し、設定する。	
			運搬・保管・梱包・包装作業段取り、アルミニウム材・製品の取扱い、運搬・保管・梱包作業機械・機器・用具・車両の取扱い、点検・整備、梱包・包装材料、外観検査(種類・形状・数量・キズ)				
	安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、QC活動、労働安全衛生法、環境対策、廃棄物処理	他の実習に包含				
	OJT計 157.0時間						
	学科	職業能力基礎講習		ビジネスマナー、コミュニケーション、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、職業倫理とコンプライアンス、電話対応、接遇(身だしなみ、態度、CS(顧客満足))、オネセビタリティ	3		新規採用時研修同等
		安全衛生		5S(整理、整頓、清掃、清潔、親和)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検、KY)、労働災害の防止、健康管理、リスクアセスメント、環境問題、製造物責任(PfL)	3		
		組立/運搬・梱包・品質管理の基本知識		組立工程に関する知識、機械に関する知識(種類・形状・用途)、組立方法の使用方・機能・構造、組立治具の種類・形状・用途、包装の分類・用途、機械・器具・工具・包装方法、品質管理、包装の材料及び容器、製図・梱包作業方法、品質管理に関する知識(考え方、進め方、規格に関する知識)、受入検査の検査項目と合格判定基準、受入検査の検査票の様式と記録方法、測定機器に関する知識	3		OJT前の基本知識の付与
能力評価		オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)	10				
学科計 19.0時間							
実技	安全衛生作業		安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、衛生管理実務、救急法(心肺蘇生、AED操作方法)	4			
	削除						
	削除						
	削除						
	削除						
	必須実技 (特別教育、技能講習)		フォークリフト運転技能講習、玉掛け技能講習など	35	指定講習機関	各種資格・免許から作業に必要な優先度により	
	実技計 39.0時間						
座学等(Off-JT)計 58.0時間							
有期実習型訓練合計 215.0時間							
主要な設備・教材		移動式クレーン、フォークリフト、荷役用具類、パレット、組立機械、組立器具、梱包・包装材料					

【活用事例3】カリキュラム(6か月訓練 960時間)

軽金属製品製造業における教育訓練カリキュラム								
平成22年2月作成								
訓練科名(コース名)		軽金属製品製造実践科 (組立/運搬・梱包/品質管理コース)	訓練修了後の 関連職種	軽金属製品製造業における組立/運搬・梱包/品質管理の職務				
訓練目 標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、軽金属製品製造業の組立/運搬・梱包/品質管理に係る基本的な知識と技能を習得する。						
仕 上 が り 像		軽金属製品製造業における組立/運搬・梱包/品質管理に係る基本的な業務ができる。						
有期実習型訓練の内容	職務名又は教科名		職務又は教科の内容		時間	Off-JTの実施主体	備考	
	実習 (OJT)	組立作業	部品組立の作業目的、部品組立作業段取り、組立機械・機器の取扱い・点検・整備、外観検査(形状・キズ)		768		自企業で中心となる作業毎に教科及び内容を 選択・削除(カスタマイズ)、時間を変更し、設定する。	
		運搬・梱包作業	運搬・保管・梱包・包装作業段取り、アルミニウム材・製品の取扱い、運搬・梱包作業機械・機器・用具・車両の取扱い・点検・整備、梱包・包装材料、外観検査(種類・形状・数量・キズ)					
		品質管理(受入検査作業)	受入検査の作業目的、受入検査の段取り、外観検査(キズ・打痕・寸法・変形)、測定技法					
		安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、QC活動、労働安全衛生法、環境対策、廃棄物処理					
				OJT計 768.0時間				
	学科	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、コミュニケーション(挨拶、言葉遣い等)、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、職業倫理とコンプライアンス、電話対応、接遇(身だしなみ、態度、CS(顧客満足))、ホスピタリティ		40		コミュニケーションスキル向上のため外部研修機関活用	新規採用時研修同等
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、統)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検、KY)、労働災害の防止、健康管理、リスクアセスメント、環境問題、製造物責任(PL)		3			
		組立/運搬・梱包/品質管理の基本知識	組立工程に関する知識、機械に関する知識(種類・形状・用途)、組立機の使用方法・機能・構造、組立治具の種類・形状・用途、包装の分類・用途・機械・器具、包装方法、品質管理、包装の材料及び容器、製面・梱包作業方法、品質管理に関する知識(考え方、進め方、規格に関する知識)、受入検査の検査項目と合否判定基準、受入検査の検査票の様式と記録方法、測定機器に関する知識		6			OJT前の基本知識の付与
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)		10			
					学科計 59.0時間			
実 技	安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、衛生管理実務、救急法(心肺蘇生、AED操作方法)		12				
	組立基本実技	部品組立の作業目的、部品組立作業段取り、組立機械・機器の取扱い・点検・整備、外観検査(形状・キズ)					OJT前の基本知識の付与	
	運搬・梱包基本実技	運搬・保管・梱包・包装作業段取り、アルミニウム材・製品の取扱い、運搬・保管・梱包作業機械・機器・用具・車両の取扱い・点検・整備、梱包・包装材料、外観検査(種類・形状・数量・キズ)		56			自企業で中心となる作業毎に教科及び内容を 選択・削除(カスタマイズ)、時間を変更し、設定する。	
	品質管理(受入検査作業)基本実技	受入検査の作業目的、受入検査の段取り、外観検査(キズ・打痕・寸法・変形)、測定技法						
	必須実技(特別教育、技能講習)	フォークリフト運転技能講習、玉掛け技能講習、 <u>床上操作式クレーン運転技能講習</u>		71	指定講習機関	各種資格・免許から作業に必要な優先度により		
			実技計 139.0時間					
			座学等(Off-JT)計 198.0時間					
			有期実習型訓練合計 966.0時間					
主要な設備・教材		移動式クレーン、フォークリフト、荷役用具類、パレット、組立機械、組立器具、梱包・包装材料						

・(OJT:Off-JT=8:2=768時間:192時間 ~ OJT:Off-JT=2:8=192時間:768時間)
・8時間/日 → 約120日(960時間の勤務日数)